



10月14日(金)から開催します企画展「赤堀茶臼山古墳—東国屈指のハニワたち—」では、赤堀茶臼山古墳の鶏形埴輪を初公開します。復元された男前なトサカ、止まり木をつかむ力強い脚と雄鶏だけにある蹴爪(ケツメ)をもつ推しハニワですので、公開までお楽しみに!

企画展 赤堀茶臼山古墳—東国屈指のハニワたち—

令和4年 10月14日(金)~12月25日(日)

赤堀茶臼山古墳は、5世紀中頃に築造された全長約62mの帆立貝形古墳です。昭和4年に帝室博物館(現東京国立博物館)により実施された発掘調査によって、古墳の墳頂部から出土した堅魚木(かつおぎ)をもつ家形埴輪を始め造形に優れた形象埴輪群は、当該期の東日本の中でも突出し畿内ヤマト王権と深く結びついた人物の存在感を示しています。

本企画展では、赤堀茶臼山古墳から出土し初公開となる復元された鶏形埴輪を展示します。この雄鶏を表現したこの鶏形埴輪は、埴輪工房とされる3km離れた釜ノ口遺跡から出土した埴輪片と接合する事実が確認されたことにより、釜ノ口遺跡は赤堀茶臼山古墳の埴輪工房と考えられます。それ以外にも著名な家形埴輪群(複製)を始め、盾形埴輪、円筒埴輪等の東国屈指のハニワたち初公開資料の展示を通じ、東国屈指の赤堀茶臼山古墳の世界に迫ります。

初公開! 鶏形埴輪



赤堀茶臼山古墳から出土した鶏形埴輪

復元した姿で初公開となる赤堀茶臼山古墳から出土したこの鶏形埴輪は、高さが約70cmの大型で迫力のある埴輪です。止まり木を両脚でしっかりとつかむ雄鶏を表現しています。

鶏形埴輪は4世紀中頃から畿内のヤマト王権の古墳に出現し、東日本にもその後は古墳に置かれるようになります。ただ、そのほとんどは破片が発掘調査などで出土するのみで、全体像が分かる埴輪は極めて稀です。この鶏形埴輪は、全体像が分かるものとしては東日本で最古の鶏形埴輪です。

企画展に合わせ歴史文化講座を開催します

- 第1回 10月16日(日) 右島和夫氏(群馬県立歴史博物館特別館長)
「古墳時代5世紀の東国と赤堀茶臼山古墳」
- 第2回 10月30日(日) 川道 亨(当館館長)
「昭和4年赤堀茶臼山古墳発掘調査と郷土史研究者たち」
- 第3回 11月13日(日) 賀来孝代氏(日本考古学協会会員)
「赤堀茶臼山古墳の鶏形埴輪」
- 第4回 11月27日(日) 河野正訓氏(東京国立博物館学芸研究部研究員)
「赤堀茶臼山古墳の埴輪—東京国立博物館所蔵品の発掘から研究—」
- 第5回 12月11日(日) 川道 亨(当館館長)
「赤堀茶臼山古墳の埴輪工房—釜ノ口遺跡—」

時間: 13:30~15:00 会場: 赤堀歴史民俗資料館2階研修室
定員: 各回25名(先着順) 申し込み: 10月7日(金)から電話予約



赤堀茶臼山古墳

※新型コロナウイルスの影響により中止する場合があります

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

入館無料

休館日: 月曜日(月曜日が祝日は翌日)・年末年始・臨時休館日 開館時間: 午前9時~午後5時(入館は4時30分)

お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98 電話 0270-63-0030 FAX 0270-63-0087

新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。ご来館の際は最新情報をホームページでご確認ください。